

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール神戸王子			
○保護者評価実施期間	2025年10月15日			2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年10月15日			2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月20日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎回、保護者さまと、お子さまのご様子を話し合ったりご相談いただいたりできる。		ご希望があれば、保育所や園など関係機関への訪問や連携できる機会をもてるようにし、お子さまのご様子をより知ることでさらにお子さまに合った係わりができるようにする。 ご希望があれば、セッションと別の時間にご相談いただく時間をもつ。
2	さまざまな専門職の指導員がお子さま一人一人に合ったプログラムを提供していることにより、多面的に捉えることができる。	毎回セッションの後に全員でその日のご様子を共有し、いろいろな角度から意見を出し合うなど、話し合う時間を設けている。 担当を一人に絞らないことで、いろいろな視点からお子さまの様子や状態を知ることができるようしている。	今後もお子さまの様子、保護者さまのご不安やご希望を共有し、意見を出し合うことで課題に合った療育や保護者支援ができるようにする。 その場にいなかつた職員にも共有もれがないよう伝達の工夫をする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	体を動かして遊ぶスペースを確保しにくい。	セッションルームが狭い。	遊具をはずしてスペースを広げる。 お子さまの組み合わせによって静、動の活動の取り組む順を決めるなど集中できる環境をつくる。
2	利用定員を満たしていない。	職員のライフスタイルの変化などにより、人員が減った時期があったため、見学をお待ちいただかざるを得なかつた。	人員が増えたため、ご見学を再開する。
3	子どもさん同士の係わりが少ない。	個別セッションがメインのため、大人との係わりが増えやすい。	特に他児との係わりなどの支援が必要なお子さまには係わる機会を多くもてるよう工夫する。 集団の中での課題があるお子さまも多いためグループ療育にお誘いしてみる。